

愛車協だより新年号

平成30年 1月10日発行
愛知県自動車車体整備協同組合
発行責任者: 諸戸行雄

年 頭 の 挨拶

愛知県自動車車体整備協同組合 理事長 金原正和



新年明けましておめでとうございます。

愛知県自動車車体整備協同組合理事長の金原正和です。

2018年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年 of 日本を取り巻く世界情勢は、米国のトランプ大統領誕生により一挙手一投足に目が離せない状況と北朝鮮の度重なるミサイル発射実験による危機感が続いており、本年度も引き続き懸念されております。

一方、経済的には円安、株高傾向になり、ある程度落ち着いて長期景気低迷から幾分回復の兆しが見え始めたところで、それが市民生活に反映されることを期待するところです。

さて、我々の日常生活に無くてはならない自動車は、100年に一度と言われる大きな変革期に來ております。自動車王国愛知県ではアクセル、ブレーキ、ハンドル操作のすべてを人工知能(AI)に任せる「レベル4」の無人実験が額田郡幸田町の公道で行われており、EV車の開発は諸外国に遅れないようメーカーの連携開発が進んでおります。中国での電気自動車は通常充電とサービスステーションで充電済電池を交換する方法がテレビで放映されておりました。

また、環境への配慮や交通事故を減らす目的により開発され主流となっている先進安全自動車(ASV車)は、衝突安全制御装置と軽量で強固なボデー構造を兼ね備えた車なので、これからの車体整備事業者にはアクティブセーフティ&パッシブセーフティと言われる知識・修理技法は欠かす事の出来ない要項と考えられます。

一方、日車協連の先進安全自動車対応優良車体整備事業者自主認定制度は国土交通省との高度化勉強会を重ねる中で基準も定まり、今後の課題は、車体修理記録簿や高度化設備の揃っていない組合事業者との連携といった方法へと期待度も変わってきております。

愛車協では率先して受付を始めましたが、その取得は見える化のゴールではなく、目標に向けた取り組みの第一歩と考えております。

認定事業者の活動が愛車協の知名度を上げ、安心・安全な車体整備を提供する業界団体と事業所である事を多くのユーザー様にアピールする活動は、車体整備業としてのブランド化に繋がるとともに、信頼のできる認定事業者の安心感のある修理は業界の資質と信頼向上に繋がります。厳しい現状ではありますが、魅力ある事業を積極的に推進し、愛車協を支えて頂いている組合員の皆様に貢献出来ればと思っております。

最後になりますが、本年も組合員と賛助会員、関係団体皆様方の益々の発展とご活躍を祈念するとともに、役員一同、精一杯頑張りますので一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



☆ 渡辺 青年部会長の抱負 ☆

新年あけましておめでとうございます。青年部部会長の渡辺竜也と申します。
昨今のクルマを取り巻く環境、とりわけ、自動運転開発を始めとする先進安全自動車は進化し続けており、大きく実用化に向けて猛進しております。

車体整備業界がこの変革時代に取り残されないためには、我々青年部の若い柔軟な発想と行動力が必要だと確信しております。

部会長就任2年目を迎えるにあたり、新しい青年部員を掘り起こして皆さんと共に進化しながら直面する厳しい時代にチャレンジいたしますので、今後とも皆様のご指導ご協力を宜しくお願いします。



支部会だより ☆

一宮支部（岩田史支部長）は、12月18日一宮市内において、支部員6名の参加で支部会と忘年会が行われました。

これには、新会員で初参加の「株式会社GTS」（ガレージダイシン）さんも交えての懇親会では大変盛り上がりしました。

池場理事からは「ガレージダイシンさんの話を皆さん食い入るように聞いており、やはり新しい会員さんは刺激になります。」との感想報告がありました。



☆ 後期特殊巡廻健診



既に12月22日付けでお知らせしました福利厚生事業の一環として行っています「後期特殊巡廻健診」を次の通り実施しますので、1月16日までにFAXで事務局までお申し込みください。

2月21日（水）、22日（木）・・・名古屋セントラルクリニック

3月1日（木）・・・あいち健康クリニック

詳細はHPにも掲載してありますのでご覧ください。（<http://www.aishakyo.jp/news/topics1/>）

新年のつぶやき (^o^) 三種の神器



新年あけましておめでとうございます。何卒、本年もよろしくお願いいたします。

揃えておれば理想的とされる品の代名詞に「三種の神器」の言葉が使われますが、これは天皇が皇位のしるしとして代々受け継がれてきた宝物のことです。

幼きころを思い出してください。

昭和30年代の三種の神器は、電気洗濯機・真空式掃除機・電気冷蔵庫であり、昭和40年代は、「3C」と呼ばれる・カラーテレビ・クーラー・自動車が三種の神器でした。

平成時代に入るとデジタルカメラ・DVDレコーダー・薄型大型テレビの家電が「デジタル三種の神器」と呼ばれるようになりました。

最近では家事にかかる時間を減らす「時短家電」のロボット掃除機・全自動洗濯乾燥機・食器洗い機がそう呼ばれているそうです。

今までの技術革新型の三種の神器プラス生活にゆとりを求めるニーズを捉えたものですね。

さて、平成時代もあとわずかとなりましたが、新時代の「三種の神器」は何なのでしょうねええ。

自動運転自動車・電気自動車・空飛ぶ自動車・・・

それでは、本年もお世話になります。 (^o^) (y. m)

